

生徒たちに向けた「左官業の周知」や「魅力発信」のため

高等学校内での「出前授業」を実施しています

仙台市立
工業高校



左官職人からそれぞれレクチャーを受けながら取り組んだ「塗り壁体験」



(写真上) 左官についての講義を受ける生徒たち

(写真下) 現役職人によるデモンストレーション

2026年3月11日(月)仙台市立仙台工業高等学校で「出前授業」を実施しました。主催は宮城県左官業組合連合会青年部(以下、宮左連青年部)で、同校建築科に在籍する2年生29名が参加しました。授業は2部構成で実施され、前半が「左官業についての理解を深める講義(座学)」、後半は「現役左官職人のレクチャーによる実技(塗り壁体験)」です。

まずは講義で『左官』への理解を深めていきます。宮左連青年部 加藤和夫 部長のあいさつに続き、講義がスタート。左官の起源や仕事内容、社会における左官業の役割など、解説と動画を組み合わせながら、左官についてわかりやすく説明していきました。

講義が終わると、次はいよいよ塗り壁体験。講師は、宮左連に所属する宮城県内の12社から集まった約30名の現役左官職人が務めます。

まずは同校 OB・OG の左官職人によるデモンストレーション。目の前で披露される滑らかな鏝さばきに、生徒たちは見入っていました。

次は自分たちが、壁を塗る番です。最初はうまく鏝に材料を乗せることすらできず、悪戦苦闘。それでも職人からレクチャーを受けたり、自分でコツをつかんだりして、終了間際には表面をきれいに整える生徒も数多くいました。

「難しかったけど、とても楽しかった」「左官職人さんの鏝さばき（技術）がすごかった」「夢中で壁を塗っていたので（時間の経過が）あっという間だった」「最後のほうは上手に塗れるようになって、うれしかった」など、体験した生徒からは、たくさんの喜びの声が聞こえてきました。

宮左連青年部ではこれからも、今回の出前授業のような体験型学習を通して、若年層に対する左官業の周知活動を積極的に行っていきます。



(写真上) 卒業生2人が左官職人として母校に凱旋
(写真下) 体験の終盤にはきれいに仕上げる生徒も



(写真左) 職人からの丁寧なレクチャー。鏝の使い方などを教わりながら 生徒は左官業への理解をより深めていった
(写真右上) 体験を通して、徐々に打ち解けていった職人と生徒 (写真右下) 時間の経過を忘れて壁と向き合う生徒も